



今月のテーマ 感染性胃腸炎
発行: 土川内科小児科
二本松市橋本250の3
Tel 0243-22-6688
発行責任者: 土川研也

あけましておめでとござい
ます。皆様いかが新年をお迎
えでしょうか。今年是非穏やか
で明るい年になってほしいと思
います。



インフルエンザと並んで冬に流
行する疾患の代表的なものとし
て感染性胃腸炎があげられます。今シーズンも昨
年暮れから少しずつ増えて来ております。こ
の疾患もインフルエンザ並の爆発的な流行
が見られる事がありますので、今月はこの
疾患について詳しく取り上げてみました。

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの
感染性病原体による吐き気・嘔吐や下痢、
腹痛を主症状とし、時に発熱が見られる疾
患です。細菌による胃腸炎はサルモネラ、
腸炎ビブリオ、ブドウ球菌、キャンピロバ
クター、病原性大腸菌(O157など)など
が原因となり食中毒を起こしますが、主に
夏場にみられるものですので、今回は冬に
多くみられるウイルスによる胃腸炎につい
て解説したいと思います。

当院からのお知らせ
診療時間について(水曜午後と日祭日は休診)
午前 8:30~12:00
午後 2:00~6:30(土曜日は5:00)
1月14日は当番医ですので、9時から5時ま
で診療を行います。

ウイルス性の胃腸炎の原因となるウイル
スとして、ロタウイルス、ノ
イウウイルス、腸管ア
デノウイルス、アストロウイ
ルスなどが代表的なもので
す。これらウイルスによる
胃腸炎は糞便からの感染
(糞口感染)が主なルートで
すが、吐いたものからの飛
沫感染も報告されています。
乳幼児ではA群ロタウイル
ス、腸管アデノウイルスに
よるものが多く、年長児、
成人ではノイウウイルスに
よるC群ロタウイルスによ

るものが多い事がわかっています。

ロタウイルス 冬に流行するウイルス性
胃腸炎(特に乳幼児)の代表的な原因ウイ
ルスで、約40~50%がこのウイルスによ
るものと考えられています。電子顕微鏡で
みると車輪の様に見えることから、ラテン
語の車輪(Rota)からこの名前が付けられ
ました。A群、B群、C群が知られています
が、日本でロタウイルスといえばA群を指
します。A群による胃腸炎の潜伏期は2~
3日、生後6ヶ月から2歳の乳幼児に好発
し、「乳児嘔吐下痢症」として知られており、
ウイルス性胃腸炎の中ではもっとも重症化
しやすいので注意が必要です。気温が5度
以下になると流行すると言われますが、
例年11月から4月頃にかけて流行のピー
クは2~3月)多発します。2歳までに大部
分の子が罹患して終生免疫を獲得します
が、大量のウイルス暴露や免疫力の低下な
どで再感染することもあります。下痢便の
特徴は「米のとぎ汁」様といわれる白色、
淡黄色の水様便で、白色便は30~50%に
見られます。5~7日続きます。「コレラ」の
時に見られる下痢便に似ている事から「仮
性コレラ」と呼ばれることもあります。この
特徴的な下痢便のほかに病初期には嘔吐
(60~90%)もみられ、また軽い発熱や
咳が見られることもあります。合併症とし
ては、脱水、腸重積、けいれんなどが知ら
れています。なお、B群は中国で流行した
ことがありますが、日本では見られていま
せん。C群によるものは主に3歳以上の年
長児や成人に多く、真冬よりも春
先から夏にかけてみられますが、
A群の様に大流行することはあり
ません。

形ウイルス(SRSV)とも呼ばれ、主に食べ
物、特に貝類(つい先日SRSVウイルスの
検査が陽性のカキを生食用として販売して
いた事件が報道されておりました。カキは
汚染された海水を取り込んでウイルスを
濃縮すると考えられています)やサラダ、
生水を介して感染します。このウイルスは
熱に弱いので、カキを生で食べなければ大
丈夫なのですが、逆に低温にはめっぽう強
く、汚染された水で作った氷が原因となる
事もあります。11月~3月にかけての冬
季に乳幼児、成人まで広く感染が見られ、
2歳以上のウイルス性胃腸炎の3分の1は
このウイルスが原因と推定されています。
ウイルス性の食中毒として集団発生するこ
とも少なくありません。潜伏期は1~2日
で、嘔気嘔吐・下痢 差し込むような腹痛
などが主症状です。脱水が強い場合には点
滴が必要となる事もありますが、通常は2
~3日で軽快(ロタウイルスよりは軽い)し
ます。

アデノウイルス40/41型 主に3歳未
満の乳幼児に一年を通して、夏期にやや多
いみられます。比較的軽症です。
アストロウイルス 主に乳幼児に感染し
急性胃腸炎を起こします。冬季に発症しま
すが、潜伏期は3~4日、一般に軽症で2
~3日で軽快します。
その他 「ロタウイルス(秋~冬)、エンテ
ロウイルス(夏)、B型インフルエンザウイル
ス(冬)などが胃腸炎の原因となります。
診断 嘔気嘔吐・下痢 腹痛、発熱など
の症状から急性胃腸炎の診断は容易にな
されますが、どのウイルスでも同じような
症状ですので(発症年齢や発症時期からあ
る程度原因ウイルスの種類を類推するこ
とはできませんが)、一部のウイルス(A群ロ
タ、アデノ)を除き確定診断は簡単ではあ
りません。
治療方法 いずれのウイルスに対しても
特效薬はありませんので、対症療法を行
います。

嘔吐に対する対処法 嘔吐が強い状態の
時には水を飲んでも吐いてしまいますので、
2~3時間、何もあげない(絶飲食)様にし
ます。その後少量の水分(スプーン1~2
口)をあげて様子をつかがい、大丈夫だっ
たら徐々に量を増やしていきます。固形物
を上げるのはコップ一杯の水分をあげても
全く吐かなくなってしまうからです。牛乳は固形
物として扱ってください。
下痢に対する対処法 たんぱく質や脂
肪分は腸に負担となりますので、牛乳やミ
ルク、乳製品は避け、イオン飲料、野菜ス
ープやおかゆ、軟らかいうどん、パン(離乳食
をイメージしてください)などのでんぷん
類を中心に与えてください。また、お菓子
など糖分の多い食品も避けてください。ミ
ルクしか飲めないお子さんの場合には、で
きるだけミルクを薄めて与えます(母乳は
そのまま与えてかまいませんが少しづつに
します)。下痢が長引いているときには下痢
用のミルクに替えると著効することがあり
ますのでお試しください。
脱水が強い場合 嘔吐や下痢が頻回で、
脱水のためぐったりとしている時には点滴
を行います。さらに、症状が重い場合には
入院治療が必要となる事もあります。
ウイルス性胃腸炎の予防
ウイルス性の胃腸炎は糞便からの経口感
染がメインのルートですので、自分のトイレ
の後はおちろん、子供のトイレを手伝った
後、オムツを替えた後、食事やおやつ、料理
の前には必ずよく手を洗いましょう。また、
子供の手洗いを手伝ったり確認することも
お忘れなく。また、タオルが病原菌で汚染
されてしまうと、タオルが感染源となり、
タオルで拭くことが感染のきっかけとなっ
てしまいますのでご注意ください。集団生
活の場合には、できれば使い捨てのペーパー
タオルの使用が望まれます。さらに、嘔吐
物、排泄物などはゴム手袋を使用して完璧
に処理し、感染が広がるのを防いでくださ
い。



この情報紙のバックナンバーをご希望の方は受付までどうぞ。